



ビルの外壁タイルはエフロが発生したり、剥がれ落ちたりしますが、パーミエイトで防げますか？



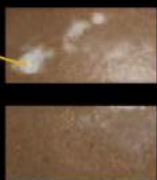
パーミエイトHS-100クリアーを薄くコートするだけで、エフロの発生を完全に防ぎ、タイルの剥落も防げますし、色艶、綺麗さが元通りになります。

●タイルの天敵「水の浸入」と「エフロの発生」

ビルなどの外壁タイルは、年数が経つと汚れたり、タイルの目地および表面に噴き出したような白い汚れが出ています。この白い汚れは、エフロレッセンス(略してエフロ、白華現象)といい、タイル表面のひび割れや目地モルタルからモルタル、更にその下のコンクリート内に浸入した水分によって水酸化カルシウムが溶け出してきて、空気中の炭酸ガスと反応して結晶化したものです。この水酸化カルシウムの溶け出し、酸性雨等の浸入によってモルタルが劣化し、タイルの浮き、剥落が起きます。

パーミエイトでエフロの発生を防ぐ

エフロ



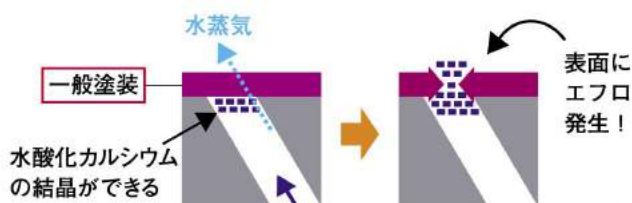
未塗布

パーミエイト
HS-100クリアー塗布後

●他のコーティング剤とはココが違う！

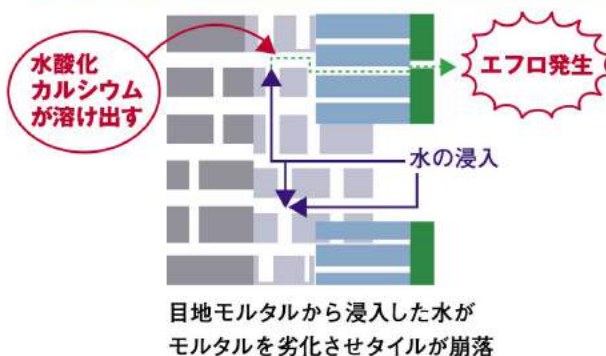
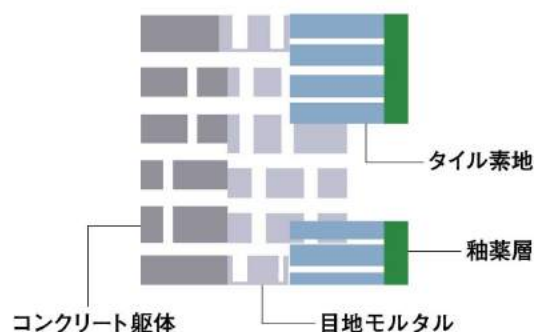
タイルの表面・目地モルタル全体を50-100g/m²と少量のパーミエイトで封孔・被覆して、水の浸入を完全にシャットアウトし、モルタル、コンクリートの劣化を防ぎます。さらに、表面をコートするだけの一般の塗料と異なり、パーミエイトは下図のようにエフロの発生を完全に防ぎます。もちろん、無機系ポリマーなので、紫外線での劣化、チョーキングもおこさず、20年を超える耐久性、汚れもつきづらく除去しやすいのが特長です。

【タイル表面をコーティングした一般の塗料の場合】

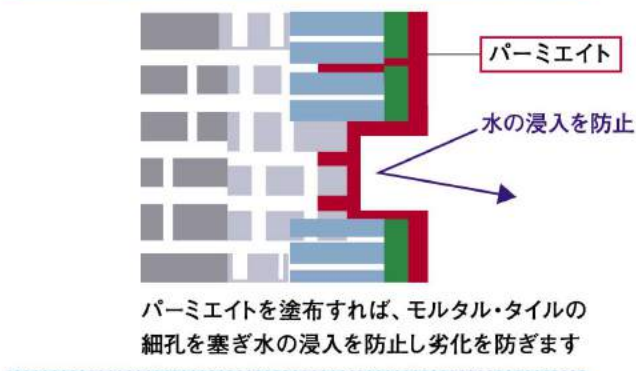


モルタル内に入り込んだ水分が塗膜を通して蒸発する時、水酸化カルシウムの結晶が塗膜の直下に生成し、塗膜を押し上げてしまうので、エフロが発生しやすい

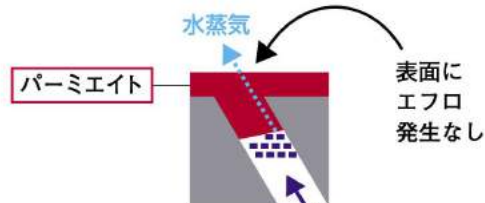
【タイルの構造図(断面)】



目地モルタルから浸入した水がモルタルを劣化させタイルが崩落



【パーミエイトの場合】



パーミエイトは外からの水の浸入を防ぐほか、モルタル内に存在する水分によって水酸化カルシウムの結晶が発生しても、塗膜が深く根を張っているため、押し上げられることはなく、エフロを発生させません